

「情報システムデータ標準分科会 2010 年度報告書」のリリースについて

国際標準対応部会情報システムデータ標準分科会は、2010 年度活動報告書をリリースいたしました。本年度の報告書は、ISO の審議に加え、昨年参加した SPAR PlantTech2010、Data Integration Group 会議およびその Follow up 会議参加報告、PCA のアメリカ大会参加報告、さらに 3D スキャンニング技術について網羅しています。また、日本電気計測器工業会（JEMIMA）およびオランダの UPSI より、最新動向についての寄稿もあわせて掲載いたしました。

国際標準対応部会情報システムデータ標準分科会は、ISO TC184/SC4 国内対策委員会リエゾンとして ISO 15926-6 Methodology for the development and validation of reference data および ISO 15926-11 Gellish-RDF について審議・評価を行い積極的な発言に努めました。

プラントに関連した標準化の動向モニタリング活動において、引き続き、JEMIMA 様と分科会活動を通じて国際規格の開発状況についての意見交換、また、欧州で開催された国際会議 SPAR/Plant-Tech 2010、Data Integration Group 会議とその Follow up 会議に参加し、積極的な意見交換に努めました。本年度、初めて、UPSI 様より欧州における標準化動向の寄稿をいただきました。PCA のアメリカ大会への参画、および Leica GeoSystem 殿のご協力を得ながら、最新動向の調査を行いました。

本年度は、欧州での国際会議の出席し、UPSIなど欧州の標準化団体との連携を行うなど、規格化・標準化に関してENAAとしての活動を国際的に発信していくベースを作ることが出来ました。国際標準化活動の方向は規格・標準の作成からその維持・メンテナンス体制の検討へと大きく動きつつある。今後も 国内外の標準化・規格化関連団体と協調して、プラントエンジニアリングに関連した標準化・規格化に貢献を出来る活動を進めていきたい。

■ 概 要

はじめに

1. 標準化対応状況
2. 標準化関連の動向モニタリング
3. ベンダ動向の把握
4. JEMIMA 活動内容紹介（JEMIMA 様寄稿）
5. UPSI からの寄稿
6. 分科会活動・成果の広報および普及
7. まとめ

■ 本件に関する問合せ先

財団法人 エンジニアリング振興協会
業務部 栗林 良
電 話 : 03-3502-4441

以上